

第15回「いつもありがとう」作文コンクール

言葉ではいえない家族への感謝の気持ちを作文に書いてみよう

■募集テーマ／いつもお世話になっている家族に対し、普段言葉ではなかなかいえない感謝の気持ちを作文に書いて応募してください。

例)「お母さんありがとう」「大好きなお父さんへ」「私のお兄ちゃん」…など

■応募方法／400字詰め原稿用紙1～3枚まで。作品の裏に応募者の郵便番号・住所・氏名・電話番号・学校名(所在地・電話番号)・学年・年齢・当コンクールを知ったきっかけを明記してください。

◎応募作品は返却しません。◎ひとり何点応募しても結構です。◎作品は必ず自分で書いたもので、未発表のものに限ります。◎海外からも受け付けます。

■応募資格／全国の小学生

■応募締切／2021年9月10日(金)必着

■応募先／〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-10-4 寿ビルディング2F

「いつもありがとう」作文コンクール事務局

■お問い合わせ／電話03-3545-5226 受付時間10時～18時(土・日・祝日を除く)

■審査員(敬称略)



作家
あさのあつこ



森田正光



フリーアナウンサー
小島奈津子



シナネンホールディングス
山崎正敏



朝日小学生新聞
清田 哲

【「いつもありがとう」作文コンクール 特設ウェブサイト】

<https://sinanengroup.co.jp/sakubun/>



■入賞発表／2021年11月26日(金) 朝日小学生新聞紙上・

「いつもありがとう」作文コンクール特設ウェブサイトで発表予定

■賞／◎最優秀賞 1作品 賞状・副賞として図書カード 5万円分
◎シナネン賞 1作品 賞状・副賞として図書カード 3万円分
◎ミライブ賞 1作品 賞状・副賞として図書カード 3万円分
◎朝日小学生新聞賞 1作品 賞状・副賞として図書カード 3万円分

◎最優秀賞～朝日小学生新聞賞は個別での表彰を予定
(詳細は受賞者へご連絡します)

◎優秀賞 低学年の部 3作品 / 高学年の部 3作品
賞状・副賞として図書カード 2万円分
◎入選 低学年の部 7作品 / 高学年の部 7作品
賞状・副賞として図書カード 5千円分
◎佳作 低学年の部 10作品 / 高学年の部 10作品
賞状・副賞として図書カード 3千円分
◎団体賞 賞状・副賞として図書カード 5万円分
『北海道・東北』『関東・甲信越』『中部・関西』『中国・四国』『九州・沖縄』の5ブロックから選出

主催：シナネンホールディングスグループ／朝日学生新聞社

後援：文部科学省／朝日新聞社

本コンクールはシナネンホールディングスグループの自主事業として実施されます。応募作品に関する著作権、肖像権等の権利は、主催者側に帰属するものとします。それらを広告宣伝等の目的でシナネンホールディングスグループ及び朝日学生新聞社の広告や印刷物、ホームページ等に使用させていただきます。応募者からいただいた個人情報は、賞品等の発送、シナネンホールディングスグループ及び朝日学生新聞社の広告宣伝等のための広告や印刷物、ホームページ等の応募作品の掲載のためにのみ利用させていただきます。応募者からいただいた個人情報は、応募者本人の承諾なく第三者に提供いたしません。

人とエネルギー、住まいと暮らしのあいだに。 **SINANEN**

【シナネンホールディングスグループ】

シナネンホールディングス ミライブ西日本 ミライブ ミライブ東日本 日高都市ガス シナネン シナネンサイクル
シナネンモビリティPLUS シナネンエコワーク シナネンゼオミック ミノス タカラビルメン インデス シナネンファシリティーズ

<https://sinanengroup.co.jp>

「お母さんの左手」

埼玉県
春日部市立備後小学校 3 年
よねじま か りん
米島 夏綾

わたしのお父さんは、はたらいしていない。その代わり、そうじやせんたく、ごはんを作る家事をしてくれる。わたしにとって、お父さんがいつも家にいて、家事をすることは当たり前だけど、スーパーの店員さんや友だちのお母さんたちからはふしぎに思われている。今まで何回お父さんの仕事は何、と聞かれたかおぼえていない。それでもお父さんはいつも笑っている。気がつくともわたしも笑っている。わたしはそんなお父さんが大好きだ。

ある日、めずらしくお父さんが笑ってくれない事があった。その日は、いつもの様にわたしとお父さんで公園に遊びに行った。しばらく遊んでいると、おまわりさんが四人あわてた様子でわたしたちの所へ来た。お父さんがわたしをゆうかいしようとしていると、だれかがつうほうしたらしい。さすがのお父さんもこの時はおちこんだらしく、今夜は飲みたい気分、と言ってコーラを一口だけ飲んでむせていた。お父さんは、お酒もたんさんもきらいで、この時しか飲んでいるすがたを見た事がない。わたしの前ではいつも笑っていて、やさしいお父さん。いやな事があつたらまたコーラ飲んでね。

お父さんが家事をしているのには理由がある。お母さんの左手だ。わたしのお母さんは、生まれた時から左手が思うように動かせない。物を持つ事もつかむ事もすごく大へんだ。お母さんがわたしをけがさせない様に、お父さんとお母さんはわたしが生まれてくる時に、役わりを交代しようとした。だから、わたしの家ではお父さんが家事を、お母さんがはたらいしている。

お母さんを見ただけで、左手が動かないと分かる人はいないだろう。外見では、わたしの左手と何もかわらない様に見える。だから、左手が動かない事を分かってもらえず、いやな事をされたり、言われる時がある。それでもお母さんもいつも笑っている。いやな事を言う人よりも、手つだってくれたり、やさしくしてくれる人の方が多いから、お母さんは人に感しゃして笑顔でいる事を大切にしている、と教えてもらった。

新がたコロナウイルスのせいで、学校に行けなかったり、友だちに会う事もできなかったけど、お父さんとお母さんがいつもそばにいてくれたからぜんぜんつらくなかったよ。毎日、おいしいごはんを作ってくれてありがとう。お父さんの作るごはんが、世界で一番おいしいよ。

お母さん、いつも東京まではたらきに行ってくれてありがとう。あたしもお母さんに負けない様にべん強がんばるね。

そして、お母さんの左手。あなたのおかげで、わたしの家は明るくて毎日楽しいよ。これからも、たくさんお手つだいするからね。ふつうに動かないかもしれないけれど、わたしはあなたが大好きだよ。わたしにとって、あなたはだれよりもすてきな左手だよ。本当に、ありがとう。